

武蔵関駅まちづくり ニュース

平成23年3月

協議会では武蔵関駅周辺のまちづくりを検討中です！

昨年5月に発足した武蔵関駅周辺地区まちづくり協議会は、2ヶ月に1回のペースで協議会を開催し、武蔵関駅周辺のまちづくりに関する基礎情報の共有、先進事例の見学、武蔵関のまちの点検会などを行い、このまちの課題や残していきたい資源について、検討をしてきました。



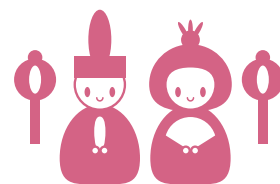
それらを踏まえて、今後は、まちのあり方や将来像について話し合い、地域の皆さまからご意見をいただく場を設けながら、来年春の「まちづくり提案」に向けて、より一層の検討を深めていく予定です。



今回のまちづくりニュースでは、これまでの活動の様子を、第2～5回のまちづくり協議会の開催内容とともに皆さまにお伝えします。

※当まちづくり協議会は傍聴も可能ですので、ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

目次



- 2ページ 協議会の開催内容
- 3ページ 協議会の開催内容
- 4ページ 課題のまとめ
- 5ページ 課題のまとめ
- 6ページ 今後のスケジュール
トピック



まちづくり協議会の開催内容

第2回

開催日 7月28日（水）

会場 関区民センター <出席者 会員22名>

グループ意見交換



当日の概要

まちの課題について意見交換

- ・ 3グループにわかれてグループ意見交換をしました。



出席者の感想

- ・ 同じグループに子育てをしている方がいらしたりと、それぞれ違った目線でまちのことを話し合ったことはとても良かったです。
- ・ 家に帰って今日のことを主人に話してみます。私は、これからはまちづくりのために協力していければと思いました。

事例見学会

第3回

開催日 9月11日（土）

見学地 祖師ヶ谷大蔵駅 / 成城学園前駅 <出席者 会員17名>

当日の概要

先進事例地区の見学

- ・ 鉄道連続立体交差事業に合わせて駅周辺のまちづくりを行った小田急線の祖師ヶ谷大蔵駅周辺（商店街、街並み）と成城学園前駅周辺（交通広場）を見学しました。
- ・ 祖師ヶ谷大蔵駅周辺地区まちづくりの会（まちづくり協議会）に関わった都市計画コンサルタントの大戸徹氏から、まちづくり協議会の活動についての説明を受けました。

駅周辺を見学



大戸氏のお話を聞く



出席者の感想

- ・ 資料を読むだけでなく実例を見学することで、まちづくりの具体的なイメージをつかむことができた。
- ・ 両駅とも、それぞれ独自性があった。武蔵関の計画づくりには武蔵関に合ったものを、時間をかけて、研究していく必要がある。
- ・ 線路跡の有効活用としての駐輪場、市民農園のコンセプト、緑の多いまちなど（商店）まちづくりのヒントがたくさんありました。

第4回

開催日 11月14日(日)
会場 関町北地区区民館

〈出席者 会員15名〉

当日の概要

武蔵関駅周辺のまちの点検

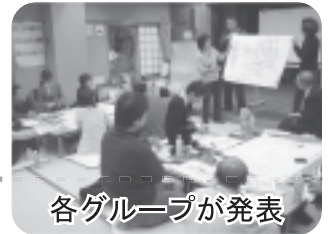
- ・武蔵関駅の駅周辺ルート、南側ルート、北側ルートの3つにわかれて、第2回まちづくり協議会で出されたまちの課題について、実際にまちを歩きながら確認しました。
- ・武蔵関のまちの課題や良い点をあらためて探しました。
- ・グループごとにその成果を「まちの点検マップ」にまとめ、発表しました。



まちを点検して歩く



地図で整理する



各グループが発表



出席者の感想

- ・住み慣れたまちではありますが、あらためて違う視点で歩いてみると、別の発見がありました。
- ・私自身は生まれも育ちも関町でしたので、私よりも若い方とまったく新しい視点で一緒にまちを回れたことが大変うれしい。

第5回

開催日 1月28日(金)
会場 関区民センター

〈出席者 会員13名〉

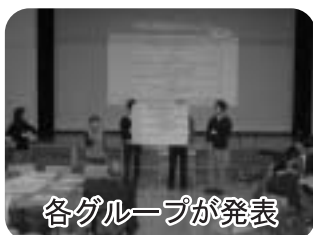
当日の概要

地区の課題を確認

- ・これまでの協議会の議論やアンケート結果などを踏まえて、事務局から地区の課題が示されました。その後2つのグループに分かれて、課題に追加すべき事や、将来の整備の方向性などについて話し合いました。



地域の課題を確認



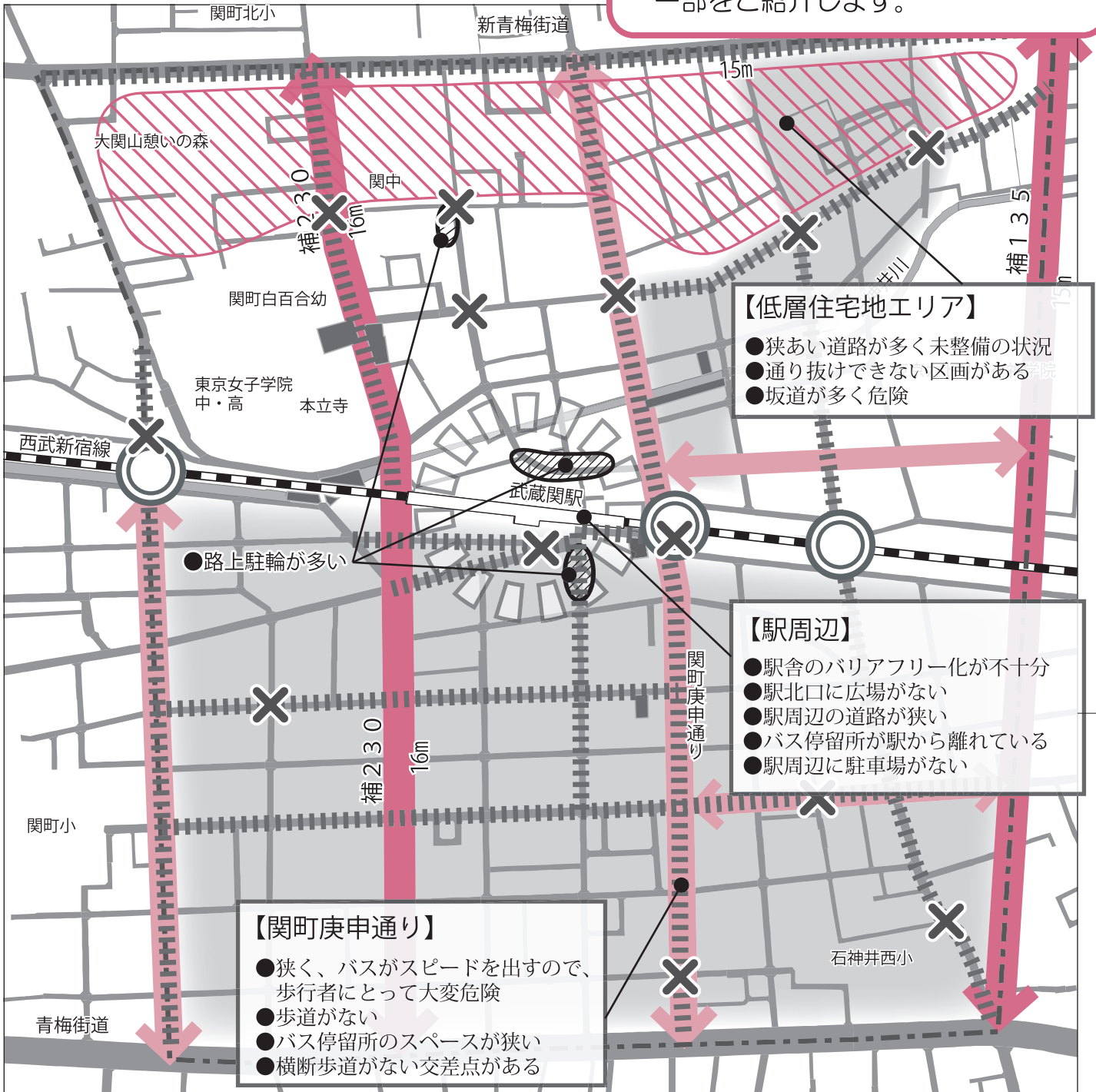
各グループが発表

今後の協議会の進め方について意見交換

- ・今後の協議会の進め方について話し合いました。
- ・また、今後の検討に必要な情報等の提供を事務局にお願いしました。

課題のまとめ (道路・交通)

これまでの協議会の活動（話し合い
やまちの点検会）で出された意見の
一部をご紹介します。



【低層住宅地エリア】

- 狭あい道路が多く未整備の状況
- 通り抜けできない区画がある
- 坂道が多く危険

【駅周辺】

- 駅舎のバリアフリー化が不十分
- 駅北口に広場がない
- 駅周辺の道路が狭い
- バス停留所が駅から離れている
- 駅周辺に駐車場がない

【関町庚申通り】

- 狭く、バスがスピードを出すので、歩行者にとって大変危険
- 歩道がない
- バス停留所のスペースが狭い
- 横断歩道がない交差点がある

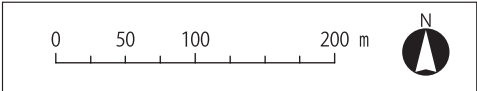
- 凡例**
- まちづくり検討区域
 - ▨ 低層住宅地エリア
 - ↔ 未整備な都市計画道路
 - ↔ 未整備な生活幹線道路
 - 一方通行が多いエリア
 - 自転車駐車場
 - 路上駐輪など
 - ⌒ 渋滞する踏切
 - ✕ 交通不安指摘箇所（交差点など）
 - |||| 交通不安指摘箇所（道路など）

【地区全体】

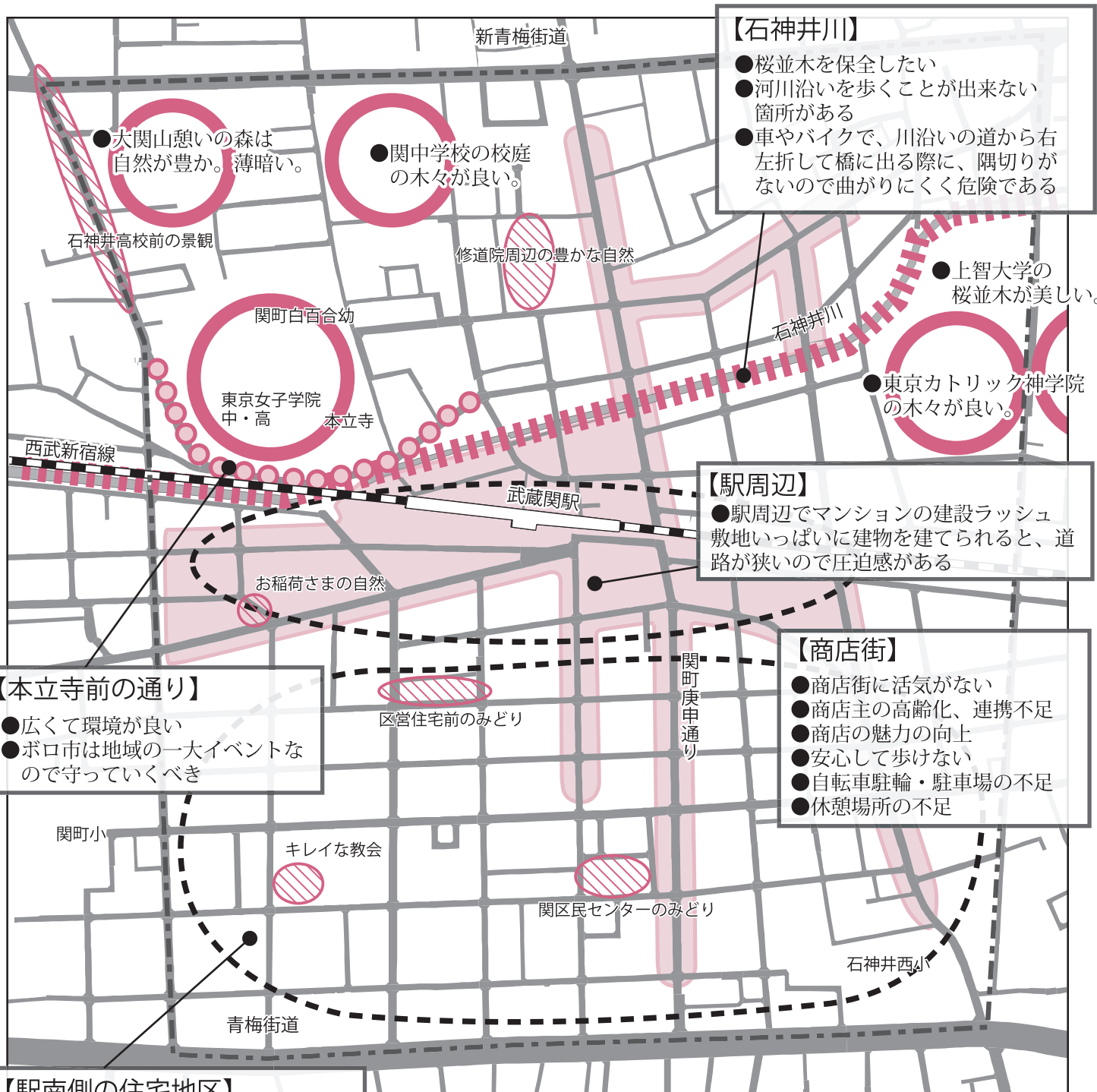
- 歩行空間のバリアフリー化が不十分

【踏切】

- 鉄道によって地域が分断されている
- 踏切による朝夕の交通渋滞
- 踏切付近の歩行者や自転車、自動車の錯綜



課題のまとめ（水とみどり・商業環境・住環境）



【石神井川】

- 桜並木を保全したい
- 河川沿いを歩くことが出来ない箇所がある
- 車やバイクで、川沿いの道から右左折して橋に出る際に、隅切りがないので曲がりにくく危険である

【駅周辺】

- 駅周辺でマンションの建設ラッシュ敷地いっぱい建物建てられると、道路が狭いので圧迫感がある

【商店街】

- 商店街に活気がない
- 店主の高齢化、連携不足
- 商店の魅力の向上
- 安心して歩けない
- 自転車駐輪・駐車場の不足
- 休憩場所の不足

【本立寺前の通り】

- 広くて環境が良い
- ボロ市は地域の一大イベントなので守っていくべき

【駅南側の住宅地区】

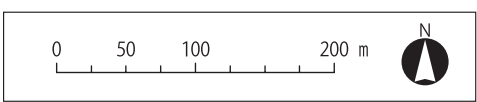
- 南側の住宅地は、生垣や屋敷の大木など緑が多い
- 青梅街道に近いエリアで大規模施設の立地が進んでいる
- ミニ開発の進行

【地区全体】

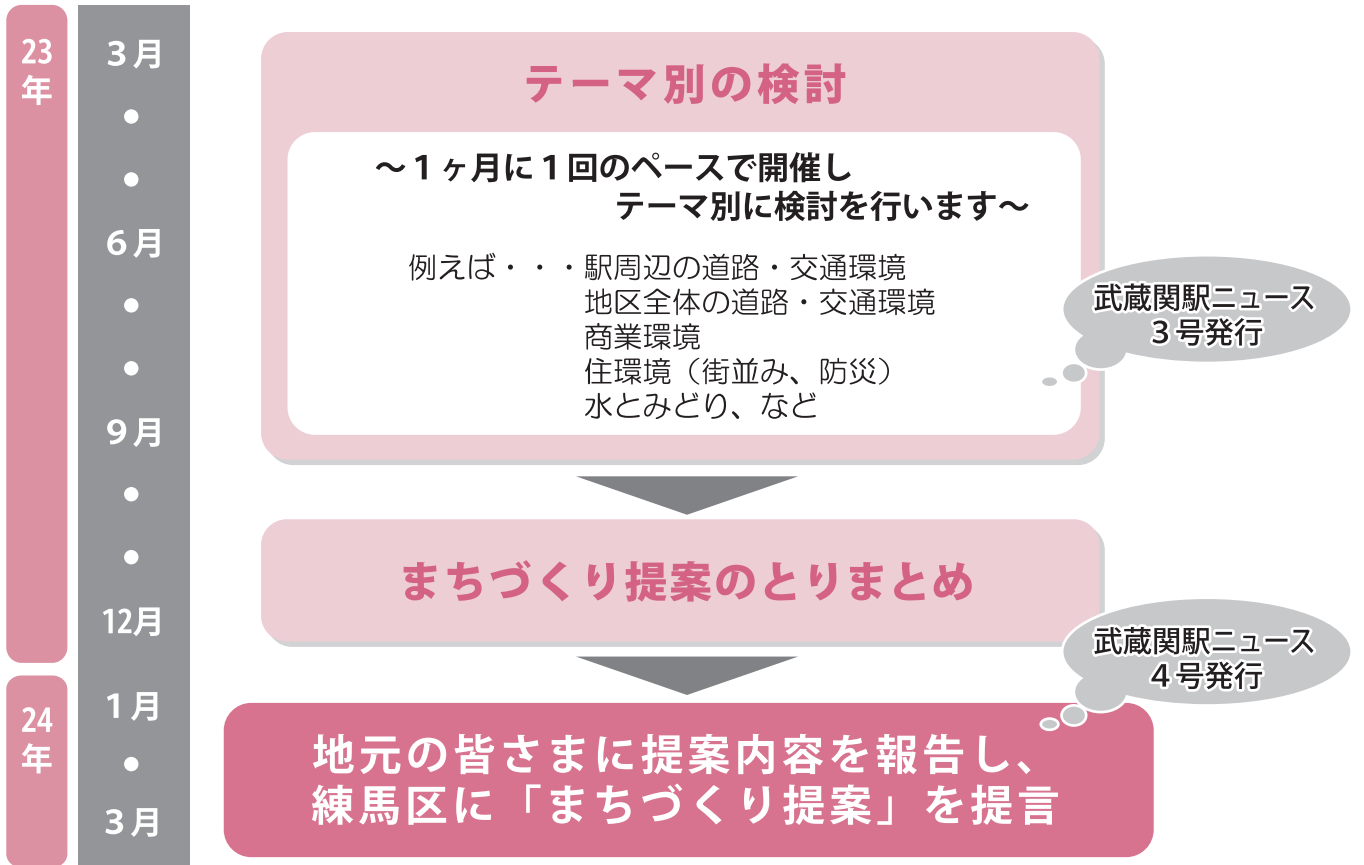
- 周辺のまちには、比較的大きな公園も整っているが、この地区には公園がほとんどない
- 緑は地区内に程々にはあるが、緑がある場所で休憩できる場所がない
- 点在する広場を有効活用できないか
- 武蔵関の良さ
 - ・下町っぽい
 - ・歴史資源がある
 - ・建物などが小さくて集合している
 - ・水やみどりを活用できる可能性がある
- 開発によって緑が減っている
- 住宅地でミニ開発が進んでいる
- 防犯上の安全性の向上が必要
- 高齢者の生活を支える施設・医療施設が不足している

凡例

- まちづくり検討区域
- |||| 石神井川沿い
- //// 雰囲気の良い場所や通り
- ◡ まとまったみどり
- ボロ市の通り
- 商店街



今後のスケジュール



トピック

武蔵関の冬の風物詩「関のボロ市」

日蓮聖人の命日をしのんで行われる、お会式（おえしき）の法要に合わせて、毎年12月9日・10日に本立寺の門前で開かれるのが「関のボロ市」です。

普段は静かな武蔵関のまちですが、この2日間は、本立寺の門前から武蔵関駅前までたくさんの露店が並び、昨年末のボロ市では、地元の買い物客や観光客など約3万5千人の人でにぎわいました。

特に9日の夜は、太鼓や笛の音が響き渡り、纏（まとい）を豪快に振りかざしながら万灯行列が練り歩き、まちは一層、活気にあふれます。

江戸時代から約270年続く伝統の「関のボロ市」は、練馬区無形民俗文化財にも登録されており、武蔵関の冬の風物詩です。



問い合わせ先

武蔵関駅周辺地区まちづくり協議会事務局
練馬区 環境まちづくり事業本部 都市整備部 西部地域まちづくり課
電話：5984-1278（直通） 担当：渡邊・山口・大塚